CIVIL GALLERY

市民美術展





市展賞 書道 深草の

んですけど…。 楽しみながら、 いな字を書けるようにとの思いからです な13首を選んで書き写したものです。 たらと思います。 私の趣味に、寛容な夫への感謝を忘れず 書道を始めたきっかけは、 この作品は、 自然ときれいな字を書けるのが理想な いまだに意識しないとうまく書けませ 少しでも長く書き続けられ 金槐和歌生 集しゅう より 普段からきれ 私の



鳥取市湖山町南五丁目 河合 紀美代さん

けていければと思っています。

これからも、

大好きな絵を描き続

画は高校生のころから始めまし 物などを描いています。 退職後は県内外の風景や、 影を落とす様子を注意して描きま って表情を変えるところが面白く、 この作品では、 小さいころから絵が好きで、 蓮の群生は 特に蓮の葉が水面に 季節や天候などによ 人物、 油彩 た。



八頭郡若桜町若桜 山本 虎之助さん



洋画 市展賞 たそがれる湖山池

※第43回鳥取市民美術展の入賞作品の紹介は今回で終了します。なお 8月1日号からは、第44回同美術展の入賞作品をご紹介する予定です。

編集後記

◆5月16日~20日の5日間、鳥取北中学校の2年生松本 対 太郎さんと 祝頼 かる 北中」で広報室に。2人には市報の校正やCATVの市政番組収録の手伝いなどを体験してもらいました。松本さ ん、山根さんどうでしたか? 「思っていたより和やかな感 じの職場で、仕事がしやすかったです(松本)」、「みなさ んよくしてくださって感謝しています。私にとってとて もいい体験になりました(山根)」

2人の仕事に真剣に取り組む姿勢と、時折見せるあど けない姿が、私の職場に新しい風を運んでくれました。 未来の鳥取を担う子どもたちにエールを送ります。「が んばれ!」

◆「しあわせは いつも じぶんのこころがきめる」。これ は書家で詩人の相田みつをさんの言葉です。人間ってなんでも他人と比較してしまうことが多いですよね。そう することで幸せかどうかを決めてしまいがち。そしてグ チっぽくなり、物事を何でも後ろ向きに考えてしまって いることがよくあります。幸せと不幸せとの間に線を引 くのはいつでも自分自身。幸せになりたいと願うのは誰 もみな同じ。それをどのように前向きに考えていくこと が大切なのかもしれません。

「とっとり市報」について、ご意見 ご感想をお寄せください。

〒680-8571 市役所本庁舎秘書課広報室

(0857) 20-3159 (0857) 21 − 1594

電子メール kouhou@city.tottori.tottori.jp



-ロメモ

すし飯は、 うちわであおがない方 が米の中まで酢が入り味がなじみ ます。渋柿の葉のタンニンと赤じ そが絶妙な味をかもし出します。

材料(5人分) 鮎(小ぶりで新鮮なもの) 20尾 塩 40g 程度 180cc 酢 砂糖 大さじ1 米 3合 水 600cc 90cc 酢 B(砂糖 大さじ5 しょうが 1かけ 赤じそ(青じそも可) 20枚 柿の葉(できれば渋柿の葉) 20枚

」(はやず



河原町支部食生活改善推進員のみなさん

- 1. 鮎の腹を開いてエラ・ワタを取り、丁寧に血抜きし、 流水で洗った後塩をまぶして30分程おく。
- 2. 流水で塩抜きし、▲に鮎を漬け、30 分位たったら 引き上げて骨を取る。
- 3. しょうがを薄い千切りにしておく。
- 4. 炊きあがったご飯にBとしょうがを加えて混ぜる。
- 5. 小さめのにぎりを作り、鮎の腹の中に詰め、腹の 方に赤じそを巻き、柿の葉で包む。
- 6. 容器(弁当箱など)に詰めて入れ、重しをし、しば らくしてから頂く。
- エネルギー 466kcal、カルシウム 370mg、たん ぱく質 28.6g、脂質 3.7g、塩分 1.5g、鉄 1.5mg ※夏は、素焼きした鮎でだしを取った「鮎そう めん」と一緒に頂くのがおすすめです